



申孝町 A・こりす瓦版

令和元年11月1日（金）発行 申孝保育園：あかりエ門（野呂明莉）

少しずつ盛り上がりを見せている、江戸・申孝町の様子を、少しだけ覗いてみませんか？



並べて置いてあるウレタンブロック。お母さん方は何に見えますか？子どもたちは、何をイメージしウレタンブロックの上に立っているのでしょうか？

そう！これはふれあいデーの時に見たステージなのです。Super えび fly や体操のお姉さんたちが立っていた、あの憧れのステージです。ステージに立つとそこはもうふれあいデーの会場です！！

ハンカチや風呂敷を赤いタオルに見立てて、ふれあいデーごっこは更に盛り上がりを見せています。子どもたちの頭の中には、ふれあいデーのあの空間が思い浮かんでいるのでしょうか。

子どもたちは、自分たちが日常の生活の中で実際に見たもの、体験したこと、身近にあるもの、身近な出来事をごっこ遊びの中で再現していきます。9月に行ったふれあいデーを思い出しながら「そういえばこんなあったよね」「こんなことやったよね」と今まさに再現しています。



こりす組のお友だちは、寝返りができるようになり、腹這いの姿勢から、顔をもち上げることができるようになり、体の使い方に成長がみられていましたよ。今まで見ていた景色が、腹這いになることで違った景色が見えるようになり「あれは何？」「こっちは？」と興味もどんどん広がってきています。

これからどんな江戸の景色が見えてくるのか、楽しみですよね！！

